

【本校の学校教育目標】  
郷土を愛し、学力や体験を自律につなげ  
社会力を身につけた児童の育成  
～「気づき、考え、実行する」熊っ子～

【本年度の重点目標】  
【学力アップ】 意欲をもって主体的に学び続ける児童の育成  
【社会力アップ】 気後れせずに周囲に接し、活動等を通して他者（友だち・保護者・地域等）とよりよくつながろうとする児童の育成  
【生活力アップ】 基本的な生活習慣・学習規律が身についた児童の育成

4：大変良い 3：よい 2：あまりよくない 1：よくない

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
組織・運営	教育目標等の周知と協働体制	<b>【取組】</b> 学校教育目標や重点目標を意識して、目的意識をもって取り組む。 <b>〈結果〉</b> ・機会あるごとに学校教育目標を提示し、全職員、全児童で共通認識を図れた。	3.6	<b>【3】</b> ・複式の利点が発揮されており、頑張っていたと思います。 ・一貫した教育目標の下で組織的な運営がなされている点に敬意を表します。教育目標が、教職員一人一人の共通理解に基づいた「生きた目標」として機能していることが、この高い評価に繋がっていると感じます。	・学校教育目標を日常的に意識できるような教室掲示をし、全教職員・全児童で共通認識を図る。 ・昨年度の提案を事前に確認し速やかな取組を行えるようにする。 ・年間計画をもとに、各担当に早めに声掛けをし、運営委員会で提案できるようにする。
		<b>【取組】</b> 主たる担当の校務分掌で、1カ月前に提案して積極的にリーダーシップを取り、評価・改善（実績に記入）を行う。	3.3		
		<b>〈結果〉</b> ・年間計画をもとに早めに提案した。また、事後に振り返りを行い、次年度に向けて改善点を明らかにした。			
実施	教育課程の	<b>【取組】</b> 週案を活用して、授業時数を確保し、めあて達成の記入により、質的管理を行う。	3.6	<b>【3】</b> ・複式の利点が発揮されており、頑張っていたと思います。 ・週案の担任による授業改善チェックを参考に、管理職や教務が授業観察を行う。 ・めあての確実な記入を行う。	
	<b>〈結果〉</b> ・週案を活用して、授業時数の質的管理を行った。				
総合所見		○全職員が学校教育目標や重点目標を意識した協働を行うことができた。また、保護者や地域にも重点目標の周知を図ることができた。次年度も、学校教育目標達成に向けて円滑な校務運営の推進と教育活動の充実に努める。			
	学力向上を目指す授業づくり	<b>【取組】</b> 「熊小授業の進め方（めあて[児童自ら発表]⇒見通し⇒一人学び⇒友だち学び⇒まとめ⇒「わがや」タイム⇒次時は～）」を徹底し、児童に学び方の定着を図る。	3.2	<b>【3】</b> ・複式の利点が発揮されており、頑張っていたと思います。 ・単に知識を伝達するだけでなく、児童からいかにして思考を引き出すかという「発問の工	
		<b>〈結果〉</b> ・「問いづくり」を通して、学習意欲を高められるようにした。			・子どもたちが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを進める。 ・週案の担任による授業改善チェックを参考に、管理職や教務が授業観察を行う。 ・全職員での指導の徹底を図る。

学力向上	<p>【取組】 学習規律の確立を目指す。(チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物〇、筆箱の中身)【生活力アップ】</p>	2.6	夫」を組織的に行われていることが学力向上に繋がっていると感じます。	
	<p>〈結果〉 ・指導の徹底を通して、学習準備の定着を図った。</p>			
学ぶ意欲	<p>【取組】 主体的・意欲的に学習に取り組めるように単元構成や課題の出し方等授業づくりの工夫を行う。 【学力アップ】</p>	3.0	【3】 ・複式の利点が発揮されており、頑張っていたいただいていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に目的や方法を明確に伝えて話す活動を仕切りなおす。</li> <li>・児童が主体的に学習に取り組むことができるような授業改善を行う。</li> </ul>
	<p>〈結果〉 ・意欲や主体性を引き出す工夫ができた。</p>			
学力の基礎を培う	<p>【取組】 多様な方法で意見や考えをのびのびと伝え合えるような場の工夫を行い、対話力を高める。</p>	2.6		
	<p>〈結果〉 ・一人学びが多いため、対話ではなく質問応答に立ってしまうことが多い。</p>			
学力の基礎を培う	<p>【取組】 家庭学習定着率90%以上を達成し、書き直しややり直しを徹底する。【教育課題】</p>	3.0	【3】 ・複式の利点が発揮されており、頑張っていたいただいていると思います。 ・学校側の日々の粘り強い指導と、家庭への啓発活動が実を結んでいると感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていない児童への早期対応（一人ひとりに応じた学習）をする。</li> </ul>
	<p>〈結果〉 ・「少メディア週間」の取組等を等して家庭学習の習慣化を図ることができた。</p>			
家庭・地域との連携	<p>【取組】 児童の実態に応じた補充学習等により、テストに向けての対策や弱点の克服を進める。</p>	3.2		
	<p>〈結果〉 ・休み時間を活用して対策を行った。</p>			
家庭・地域との連携	<p>【取組】 児童と地域とのかかわりを意識させ、地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動の実施や工夫・改善を行う。 【社会力アップ】</p>	3.3	【3】 ・中学校や他の小学校と連携を取りながら、行事や取組を進めるのはとても良いと思います。 ・学期ごとの保護者アンケート及び児童アンケートとの比較など、細かい配慮がなされていると思います。 ・地域の方々の協力を取り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達につけたい力を明確にし、系統的に地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を進めていくため、総合的な学習等の教育課程との関連・充実を図る。</li> <li>・日頃から、保護者との関係づくりを進め、保護者と家庭で課題やつけたい力を共有していく。</li> </ul>
	<p>〈結果〉 ・子ども達につけたい力を明確にし、系統的に地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を進めていくまでには至っていない。 ・コミュニティスクールの組織ができ、運営が始まった。</p>			

		<p>【取組】 迎えの時や電話連絡、家庭訪問等で、保護者と話し、子どもの様子など情報を積極的に把握する。</p> <p>〈結果〉 ・日頃から、保護者との関係づくりを進め、児童の様子を共有することができた。</p>	3.7	<p>て、興味のわく学習にしてほしい。(イベント化しないように毎年の組立を大切に組み組んでほしい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭・地域の間に着実な信頼関係が構築されていると思います。日頃からの学校の情報発信が丁寧に行われていると感じます。</li> </ul>				
総合所見		○学力向上の取組の効果がある程度上がっている。全校統一した取組の徹底を図るとともに、児童が主体的に学習に取り組むことができる授業改善に取り組む。						
体力向上		<p>【取組】 外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図る。</p> <p>〈結果〉 ・体力アップシートを活用しながら、一人ひとりに合った目標設定をし、体力づくりを進めた。</p>	3.6	<p>【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童と教職員でのボール遊び等、積極的にすすめてほしいと思います。</li> <li>・少ない人数で、チームスポーツやゲームなど、難しい面もあると思うので、工夫が必要だと思う。(地域の協力もあり?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に体力アップシートを活用しながら、一人ひとりに合った目標設定をし、体力づくりを進める。</li> <li>・「保護者と学ぶ規範意識講演会」等を活用して、さらなる、保護者との課題共有を図る。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の際に、少ゲームについてさらに啓発をする。</li> </ul>			
		<p>【取組】 「早寝・早起き・朝ごはん・少ゲーム(含YouTube)」の日常化に向けて、児童や家庭の実態に応じた手だてを講じて、改善を図る。 【生活力アップ】</p> <p>〈結果〉 ・「保護者と学ぶ規範意識講演会」等を活用しながら、保護者とも課題を共有したり、「早寝・早起き朝ごはん」の取組を行ったりした。</p>	2.8					
	総合所見	○体力の実態に応じた取組の実施や、体育のボール運動における小小連携等の工夫が必要である。 ○基本的な生活習慣や情報モラルについては、家庭とさらに連携を深めていく。						
豊かな心の育成	豊かな心	<p>【取組】 なかま・保護者・地域とよりよくつながるために、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣い、相手に対する接し方等好ましい人間関係作りを進める。 【社会力アップ】</p> <p>〈結果〉 ・言葉遣いについて全教職員で共通認識を持ち、即時指導を行った。</p>	3.0	<p>【3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの成長がみられ、良いと思います。</li> <li>・地域・学校で共通の認識を持つ機会があればよいと思います。</li> <li>・いじめをなくす取組については、日頃から教職員が児童一人一人の変化に目を配り、組織的に対応されていることが自己</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣い、いいところ見つけ等の継続指導と定期的な SST の実施をする。</li> <li>・生徒指導委員会で児童の状況を共有する。</li> <li>・全教職員がアンテナを高くし、気になる事象に対して、その場での指導、声掛けを行う。</li> <li>・いじめ研修などで、対応について話し合い、全教職員で取組を</li> </ul>			
	めいを	<p>【取組】 いじめの防止・早期発見・対処について常に気を配り取り組む。</p>	3.7					

	<p>〈結果〉 ・児童の様相観察等を全教職員で行い、早期発見・早期対応にチームで取り組むことができた。</p>		評価 3.7 に繋がっていると感じました。	進めていく。 ・頑張りをはめ、意欲につなげる。
規範意識	<p>【取組】 学校におけるきまりやルール、約束などに基づいて、主体的に判断し行動しようとする気持ちを育てる。</p> <p>〈結果〉 ・頑張りをはめ、意欲につなげた。</p>	3.0		
総合所見	○言葉遣いや挨拶等については、全職員共通認識の上で指導を行うことができ、児童の実態もよくなってきた。自分とまわりの友だちを大切に作る気持ちも育ってきてはいるが、継続的な SST が必要である。			
主題研修等	<p>【取組】 食育に係る主題研究を積極的に推進する。</p>	3.5	【3】 ・食育発表会お疲れさまでした。熊小のよさを知ってもらった機会だと思いました。 ・食に対する興味を持ってくれるといいですね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学活に食育を位置づけ、継続した指導を行う。</li> <li>・指導主事を活用し、主題研究の充実を図る。</li> <li>・定期的に還流学習会の場を設け、それぞれが学んできたことを交流していく。</li> </ul>
	<p>〈結果〉 ・食育発表会をし、主題研究の充実を図った。</p>			
	<p>【取組】 積極的な校外研修への参加、還流研修会の実施を通して研修内容を日常の教育活動に生かす。</p>	3.5		
	<p>〈結果〉 ・校外研修へ参加し、指導力向上を図った。また、還流研修会を行うことにより、学びが広がった。</p>			
総合所見	○食についての理解を深めることができた。来年度は、児童が主体的に学びに向かうことができる授業改善の研究を行う。			
環境構成等	<p>【取組】 児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応のマニュアルを熟知し実動できるようにする。</p>	3.3	【3.5】 ・教室や廊下の掲示物や作品を見ても、子どもたちの成長がうかがえました。 ・よく整理されていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な状況に対応できるように、それぞれのマニュアルを熟知し、職員が対応できるようにする。</li> </ul>
	<p>〈結果〉 ・マニュアルの確認、見直しができた。</p>			
	<p>【取組】 教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行う。</p>	3.5		
	<p>〈結果〉 ・学習の足跡が残るような掲示を工夫した。</p>			
総合所見	○日常的な安全点検の徹底とともに、危機管理マニュアルの周知徹底・定期的な見直しを行う。また、児童の意欲を高める環境づくりに努める。			